迦陵園だより

2026（令和８）年11月発行
社会福祉法人　迦　陵　園
（児童養護施設）
〒606-0802
京都市左京区下鴨宮崎町109
TEL（075）701-0250
H　P　http://karyouen.or.jp
発行人　社会福祉法人迦陵園
編　集　迦陵園　広報担当

養育理念　子どもの心に寄り添い安全で安心な生活を保障する。

基本方針
- ▶権利擁護　子どもたちがひとりの人間として尊重され、自己実現を目指していけるよう支援する。
- ▶アタッチメントの形成　大人との関係の中で安心感を育み、子どもが健やかに成長できるよう支援する。
- ▶地域福祉への貢献　児童福祉で培った知識や経験を積極的に地域へ還元する。

時代の切実さを季節の推移に思う

理事長　廣　　啓司

今年も雑役に追われ、気付いた時にはもう夏が過ぎ、野や川辺の草叢には虫の声が聞こえる秋を迎えようとしています。

この迦陵園近くの糺の森も、その虫達の住み処として美しい声で奏で始めており、私も時々立ち止まって、その優雅な声に耳を傾けるのですが、今年は雨季が断続的に長く続いたためか、その虫の数も少ないように思われます。

それでも、鈴虫やコオロギが気分良さそうに鳴いている声を聞いていると、私の心も癒されますが、同時に虫同士が短かい生命を嘆いているようにも聞こえ、私などは、すぐ現代詩人草野心平氏の作品である「秋の夜の会話」が頭に浮かぶのです。

その詩文は次のように、虫達の語りとして言語化したものですが、短い秋の夜を生きる命の短かさと、夜の短かさを悲しく複合させた内容として、簡単に扱えない気持にさせられるものがあります。

〈詩文〉「秋の夜の会話」

寒いね。ああ、寒いね。虫が鳴いてるね。ああ、虫が鳴いてるね。何がこんなに切ないんだろうね。腹だろうかね。
腹取ったら死ぬだろうね。死にたかないね。……ああ、虫が鳴いている。

この詩文は、声を出して読めば判るように、短い自由詩ではありますが、小さな生命の虫達といえども、懸命に生きていることを通して、一生は一回であることを切実に歌ったものとして響き、秋という冬への入口における切なさが題材になっているのです。

そして、その季節との関係を特に大切にしたものが、俳句の世界では「季語」と言われるものがあり、季語としての言葉が「季語集」として示されているのです。言わば俳句の生命線ということが出来るほど大切なものと言えるのであります。

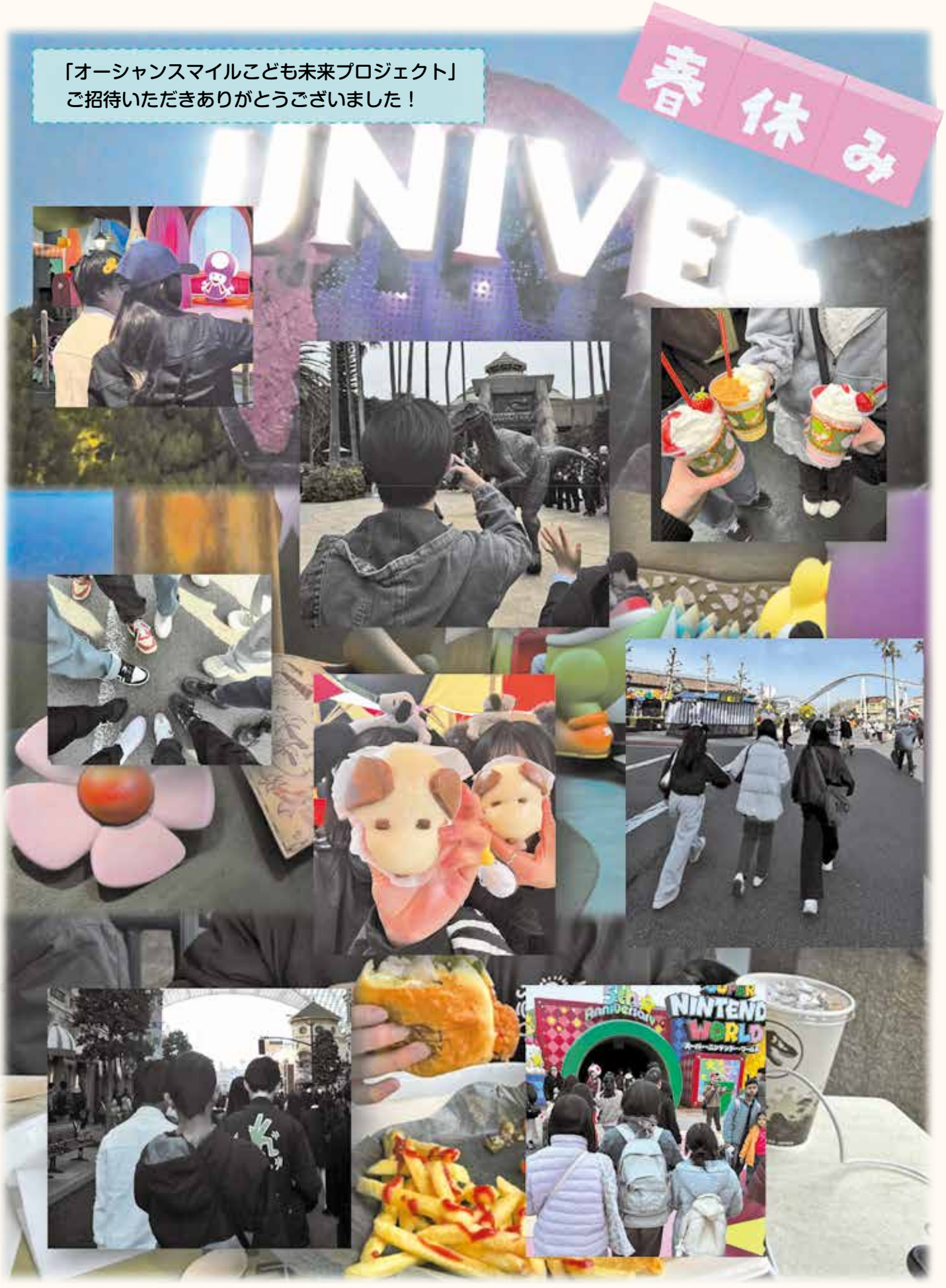
有名な松尾芭蕉の「古池や蛙飛び込む水の音」も、「枯枝に鳥止まりけり秋の暮れ」も、総て季語を持ち、季節の味合いと関係しているものであり、正岡子規の「柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺」というような軽い日常の中の出来事から、与謝蕪村のように俳諧の世界を求め続けて全国を旅し、天明三年（1783）12月25日未明に、「しら梅の明くる夜ばかりとなりにけり」と吟じ、これを私の「初春という題にしておくれ」と告げて眠るように生涯を閉じた俳人もいるのです。

わずか五、七、五という定型語数に当てはめて遊ぶという俳句でも、人生の辞世にもなれば軽い日常の戯れ事、遊戯にもなる、という奥の深さを、私も児童養護施設迦陵園の理事長としての人格の幅として持ちたいものと日々考えておりますので、どうか皆様方におかれましても、ご援助の程、よろしくお願い致します。

子に継ぐべき黎明の木の実掌（て）の聖（ひじり）（青隴）

春休み

「オーシャンスマイルこども未来プロジェクト」
ご招待いただきありがとうございました！



お花見

桜だんご



手のひらに

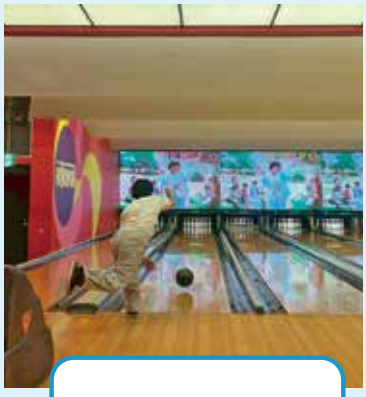


夜桜

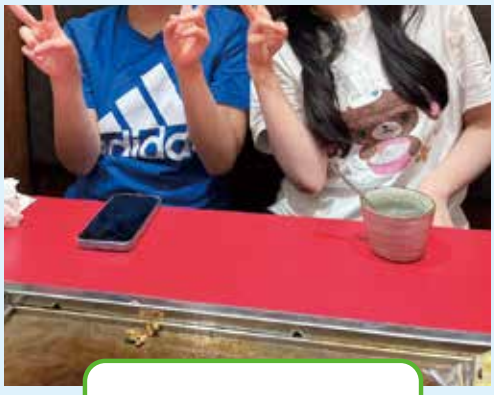




GW



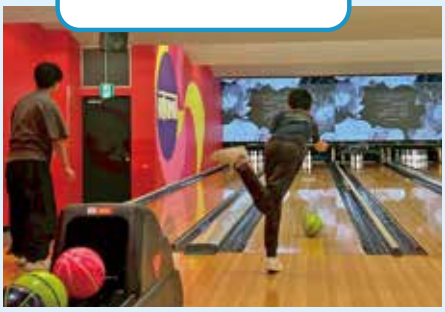
ボウリング！

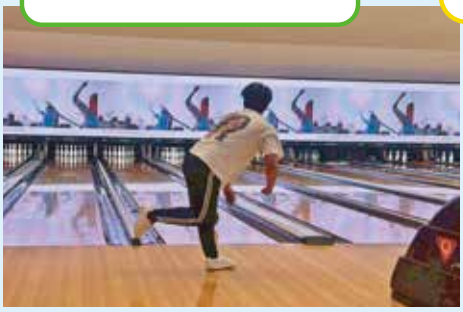


鉄板焼き！



パン食べ放題！





夏をエンジョイ！

浴衣で七夕まつり





下鴨神社の御手洗まつり







おいしー！たのしー！すいか割り





冷たくて最高！プール





迦陵園で里親支援専門相談員として働いていた職員と、里親さんとして活動されつつ迦陵園で働いてくださった方から、里親さんについて、お話を伺ってみました！

里親家庭をチームで支える「里親支援」

前・里親支援専門相談員　あ べ

京都市では、さまざまな事情によって家庭で暮らすことが難しい子どもたちが、できる限り家庭に近い環境で安心して生活できるよう、「里親制度」を推進しています。里親制度は、子どもを家庭に迎え入れて養育する里親と、そこで育つ子どもを社会全体で支える仕組みです。

里親制度を多くの市民に知ってもらうための広報・啓発活動をはじめ、里親制度説明会でのリクルート、登録に必要な研修などを定期的に実施しています。また、研修（座学と実習）を経て、里親登録された後には、委託前からアフターケアまで、児童相談所や里親サポートセンター青い鳥、きょうと里親支援・ショートステイ事業拠点ほっとはぐ、里親支援専門相談員（各乳児院と児童養護施設に所属）などが、里親家庭への相談支援や訪問、関係機関との連絡・調整、里親同士の交流会などを行い、里親家庭をチームで支える体制を築いています。さらに京都市では、2026年10月から「里親支援センター」を開設し、里親のリクルート・相談から登録前後の支援、子どもの委託後の養育支援、委託終了後のサポートまで、一貫した支援体制の構築を進めています。

里親支援は、里親だけを支えるものではありません。その中心にあるのは、子どもが安心できる家庭的な環境の中で育ち、自分らしく成長していくことです。支援機関や専門職だけでなく、里親同士・里子同士の支え合いも重要だと考えています。子どもの育ちを多くの目、多くの手で支えていくことが、傷つきの経験を持ち揺れやすい子どもを一つの家庭で育む上では欠かせないと考えています。

私が児童養護施設迦陵園で子どもたちと過ごした歳月は、10年を超えました。子ども達との出会いと思い出は、糺の森の木の数にも負けないほどになりました。ケアワーカーとして、子ども一人ひとりの思いや背景を理解し、信頼できる関係を築くこと、子どもの人生を確かに繋いでいくこと、子どもの可能性と成長を信じ続けることの大切さを教えてもらいました。特に思春期の子どもたちと関わる時、気持ちの揺れや葛藤、これまでの生育歴などが複雑に絡み合う中で「自分とは何者か」「生きる意味は」という実存的問いに立ち向かう渦中ほど、安心できる大人・居場所の存在が不可欠であることを確信させられます。そしてまた、私自身が子どもとの関係に悩んだ時も、自身の言葉かけや行動が正しいのかと立ち止まった時も、信頼できる心強い職員に支えられて、一人で抱え込むことなく、子どもと向き合い続けることができました。

里親家庭においても、子どもとの関係づくりに悩んだり、思春期特有の難しさに直面したりすることがあって当然です。だからこそ、里親だけが悩みを抱えるのではなく、関係機関や専門職がチームとなって里親とそこで育つ子どもを支えることが重要だと考えます。私が迦陵園において、子どもたちと向き合い培った経験を糧に、今度は里親とともに悩み、考え、支える立場として、新たなステージである里親支援センターで活かしていきたいと考えています。今後とも京都市の社会的養護のフィールドで尽力して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



里親さんの気持ち

里親登録は、夫の強い希望から始まりました。責任の大きさに私は自信がありませんでしたが、研修に参加してみると、意外にも同じように不安を持ちながら参加されてる方が多く、やってみよう！と思うことができました。そして児童養護施設での体験研修に参加した時、今まで感じたことのない想いで胸がいっぱいになり、いつかこの場に戻ってきて、子どもたちのそばにいたいという想いが私の中に強く残りました。

初めての里親を経験してしばらくした頃、迦陵園とのご縁をいただきました。勤め始めた頃は、不安や非常勤職員の私にできることは何か？という悩みもありましたが、少し離れた関係の私だから子どもたちが気分転換できたりすることもあるかもしれないという想いで過ごしているうちに、自分の役割を見つけていけたように思います。

迦陵園の日々で一番印象に残っていることは、子どもたちと職員さんが本当によく対話されるということです。うまく言葉にならない子どもたちの想いを整理されながら、子ども自身が自分と向き合い、お互いの話を聴き合い、納得できるようにサポートされていて、とても勉強になりました。 同時期に再び里親をさせていただく機会が訪れ、嬉しいことも葛藤することもありましたが、迦陵園での様々な学びと里親支援員さんの支えに、改めてとても感謝しています。これからも、何らかの形で子どもたちと共に過ごしていきたいと思います。

K里親

新規採用職員のご案内



子どもたちや先輩職員からも頼りにしてもらえるケアワーカーを目指して、一生懸命頑張ります！よろしくお願いします！

ケアワーカー　まえだ

今年の４月に入職しました。子どもたちと一緒に成長できるよう、頑張ります。よろしくお願いします！



ケアワーカー　みずおち

2025 年度決算のご報告

法人単位貸借対照表
2026年 3月31日現在

（単位：円）

資産の部	当年度末	前年度末	増減	負債の部	当年度末	前年度末	増減
流動資産	104,471,114	100,076,284	4,394,830	流動負債	43,276,199	21,947,658	21,328,541
普通預金	73,600,579	59,866,452	13,734,127	事業未払金	25,721,776	7,267,812	18,453,964
預け金（電子マネー）	87,223	56,376	30,847	未払費用	1,727,000	1,510,000	217,000
預け金（プリカ）	1,253,936	0	1,253,936	職員預り金	3,082,423	2,957,576	124,847
事業未収金	25,990,838	37,485,285	△11,494,447	前受収益	20,000	7,270	12,730
立替金	70,000	0	70,000	仮受金	5,000	5,000	0
前払金	2,553,088	1,947,671	605,417	賞与引当金	12,720,000	10,200,000	2,520,000
仮払金	90,950	0	90,950	負債の部合計	43,276,199	21,947,658	21,328,541
その他の流動資産	824,500	720,500	104,000	純資産の部			
固定資産	438,810,936	424,839,357	13,971,579	基本金	159,009,816	159,009,816	0
基本財産	156,182,998	159,768,231	△3,585,233	基本金	159,009,816	159,009,816	0
土地	128,818,800	128,818,800	0	国庫補助金等特別積立金	39,957,119	44,381,516	△4,424,397
建物	27,364,198	30,949,431	△3,585,233	国庫補助金等特別積立金	39,957,119	44,381,516	△4,424,397
その他の固定資産	282,627,938	265,071,126	17,556,812	その他の積立金	223,138,153	203,063,712	20,074,441
建物	41,285,414	42,750,166	△1,464,752	人件費積立金	61,460,529	51,431,420	10,029,109
構築物	7,538,609	7,276,778	261,831	施設整備等積立金	161,677,624	151,632,292	10,045,332
車輌運搬具	923,600	1,813,189	△889,589	次期繰越活動増減差額	77,900,763	96,512,939	△18,612,176
器具及び備品	9,582,162	10,167,281	△585,119	次期繰越活動増減差額	77,900,763	96,512,939	△18,612,176
差入保証金	160,000	0	160,000	（うち当期活動増減差額）	1,462,265	8,487,430	△7,025,165
人件費積立資産	61,460,529	51,431,420	10,029,109				
施設整備等積立資産	161,677,624	151,632,292	10,045,332	純資産の部合計	500,005,851	502,967,983	△2,962,132
資産の部合計	543,282,050	524,915,641	18,366,409	負債及び純資産の部合計	543,282,050	524,915,641	18,366,409

法人単位事業活動計算書
（自）2025年 4月 1日（至）2026年 3月31日

（単位：円）

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	児童福祉事業収益	272,701,200	271,244,277	1,456,923
		保育事業収益	7,349,000	7,113,000	236,000
		経常経費寄附金収益	5,536,742	4,873,559	663,183
		サービス活動収益計(1)	285,586,942	283,230,836	2,356,106
	費用	人件費	214,717,459	205,285,648	9,431,811
		事業費	42,807,868	42,766,679	41,189
		事務費	23,929,965	23,411,497	518,468
		減価償却費	9,893,392	9,849,737	43,655
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△6,403,517	△6,194,774	△208,743
		サービス活動費用計(2)	284,945,167	275,118,787	9,826,380
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		641,775	8,112,049	△7,470,274
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	230,394	51,297	179,097
		その他のサービス活動外収益	2,381,436	1,995,165	386,271
		サービス活動外収益計(4)	2,611,830	2,046,462	565,368
	費用	その他のサービス活動外費用	1,791,340	1,671,080	120,260
		サービス活動外費用計(5)	1,791,340	1,671,080	120,260
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		820,490	375,382	445,108
経常増減差額(7)=(3)+(6)			1,462,265	8,487,431	△7,025,166
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	1,979,120	8,753,366	△6,774,246
		特別収益計(8)	1,979,120	8,753,366	△6,774,246
	費用	固定資産売却損・処分損	0	1	△1
		国庫補助金等特別積立金積立額	1,979,120	8,753,366	△6,774,246
		特別費用計(9)	1,979,120	8,753,367	△6,774,247
	特別増減差額(10)=(8)-(9)		0	△1	1
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)			1,462,265	8,487,430	△7,025,165
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		96,512,939	88,042,069	8,470,870
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		97,975,204	96,529,499	1,445,705
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		0	0	0
	その他の積立金積立額(16)		20,074,441	16,560	20,057,881
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		77,900,763	96,512,939	△18,612,176

ご支援心から感謝申し上げます。

（2026年2月～2026年9月／敬称略、順不同）

【ご寄付】

大日倉庫株式会社、大日倉庫株式会社の社員の皆様、京都環境事業協同組合、小畑秀平、小林宏史、西脇芳子、小方登、株式会社コンセプト、京滋お部屋探しネット、中野陽子、美鈴サンタ事務局、公益財団法人日本児童養護施設財団、上羽清子、すずきゆい、阿部天、楊正武・楊愛玉

【ご寄贈】

新多良子、森下徹、公益財団法人栗和田福祉財団、三宅登、株式会社いちなん、音川学、武藤康司、京都中小企業家同友会、株式会社わかさ生活、増田真喜子、公益財団法人日本漢字能力検定協会、協同食品株式会社、株式会社コンセプト、有限会社クロス、戸田真佐代、株式会社フレーベル館、しんきん証券株式会社、日本通運株式会社、一般財団法人リスモン財団、ひだまりハウス岩倉、スポーツコミュニケーションKYOTO株式会社、株式会社チュチュアンナ、田中由佳、大西みち子、24時間テレビチャリティー委員会、米田多智夫、カーブスフードドライブ、イタリア料理研究会、一般財団法人洛和まちづくり財団、父の日コンサート実行委員会、石田賀奈子、株式会社朱常分店、粂田順司

【行事のご招待等】

京都さくらロータリークラブ（オペラコンサート鑑賞・弦楽器体験）
公益財団法人オリックス宮内財団（プロ野球観戦招待）
京都鴨川ライオンズクラブ（アイススケート招待）
米田多智夫（Ocean Smileこども未来プロジェクト）
楊正武（児童養護施設等で暮らす中学生の卒業をお祝いする会）
京都ロイヤルライオンズクラブ（ひらかたパーク招待）

【ご助成】

一般財団法人篠原欽子記念財団、社会福祉法人中央共同募金会
シマダデンタルクリニック（歯科矯正）、京都中小企業家同友会（就労体験）





